

画像処理、NC一体化の検査装置

「世の中にないものを作るのが我々の仕事」

画像処理とNC制御を一体化させたユニークな検査装置を開発・製造するユーエスディ(株)(相模原市大野台4-1-77)の小島秀作社長は、こともなげにこう話す。

コンピュータメーカーでハードウェアの開発に10年ほど携わった小島社長が、「自分が目指すものを手掛けるのは、独立しなければ困難」との思いから同社を立ち上げたのが1981年。社名のUSDは「ユニーク・システム・デザイン」の略である。

社長以下3名、全員技術者の体制で創業。3年の準備期間において独自のNC装置を開発し、84

年に法人化。この装置がチップマウント用としてTDK(株)(東京・中央区)のOEMとして採用されていた事業がゼロになっ



144 ユーエスディ(株)

れ、順調なスタートを切った。

ところが、5年ほど経て売り上げが4億を突破し、さらなる飛躍という時、突然地に落ちた。TDKの社内体制一新で、

発。それまでルーペによる目視だった版下合わせの作業を画像処理で自動化した装置で、大手メーカーを介して、全国の印刷会社から引き合いが相次いだ。

の画像処理ボードを開発。2枚看板とした。さらに2000年に、CCDカメラと特殊な画像処理技術を組み合わせ、米、茶、大豆などの農産物から不良品を

ター等を相次いで開発。そして02年、同社のコア技術であるNCと画像処理を一体化させた真打ちともいえる自社製品「マイクロバックス」を開発。生産現場で何段階も

てカスタマイズしてこそ自社製品の真価が発揮できるの考えから、小島社長は自社ブランドにこだわっていない。「大切なのは、顧客の要望をきちんと把握した上で、それに確実に対応した製品開発を行うこと」と強調する。



「顧客の要望に対応した製品開発」を強調する小島社長

の検査を経なくても、この装置1台で形状や大きさ、濃淡、色などの良否判定から識別までできる。画期的な装置だ。同社のユニークな製品はいずれも自社ブランド販売。このほど、川崎市麻生区から新設の工業団地「Sisa神奈川」に本社工場を全面移転。協同組合の代表理事を務める小島社長は、団地内の異業種交流も積極的に推進している。

OEM9割ながら、高いニーズに裏付けられたオンリーワン製品群

(矢吹)

90年代初頭。再起を図るべく、1年かけて輪転機用自動見当装置を開

過去の失敗を踏まえ、1つの事業に依存せず枝を伸ばしておこうと、間もなく液晶パネル検査用

識別し除去する画期的な選別機や、自動車製造の最終ライン、車検場で使われるヘッドライトテスト

が可能だが、実際にはまだ9割がOEM。ただ、固定スペックのカタログモデルより、用途に応じ

種交流も積極的に推進している。